

平成23年度第7回日出町生活交通確保維持協議会会議録

(1) 日 時 平成24年2月23日(木) 13:55～15:00
場 所 日出町保健福祉センター 多目的ホール

(2) 出席者 堀田協議会会長・・・日出町
清水委員(代理:財前様)・・・国東観光バス(株)
伊豆委員・・・日出町タクシー協会
扇谷委員(代理:財前様)・・・大分県バス協会
江藤委員・・・九州運輸局大分運輸支局
財前委員・・・国東観光バス(株)杵築営業所
宇都宮委員・・・日出警察署
合田委員・・・日出町
河野委員・・・日出町
横松委員・・・大分県東部振興局
土井協議会副会長(欠席)・・・日出町区長会
漢委員(欠席)・・・大分県タクシー協会
天野委員(欠席)・・・大分県別府土木事務所
垣迫委員(欠席)・・・日出町社会福祉協議会
事務局 越智事務局長、井川、高橋、西原
その他 株式会社地域科学研究所(鎌田)

(3) 議事要旨

平成23年度第7回日出町生活交通確保維持協議会開始(13:55)	
井川事務局長	定刻より5分早く協議会開始。役場本庁舎で確定申告を開催していることもあり、駐車場が不足する可能性があるため、会場が保健福祉センターになったことを説明。開会あいさつをお願いします。
1. 開会あいさつ	
越智事務局長	会議出席へのお礼を述べ、第7回日出町生活交通確保維持協議会の開会あいさつをする。
2. 会長あいさつ	
堀田会長	昨年の4月に委員になってもらい、前回まで6回の協議を重ねてきた。貴重な意見をもらいながら開催し、平成23年度は本日の7回目で最後になると思っている。今日は、計画(案)を提示することになっているので、いつもと開催場所は違うが、最後までよろしくお願い

	<p>します。</p> <p>と、会長としてのあいさつ。</p>
井川事務局員	<p>議事に入る前に、式次第、変更申請書等、モビリティ・マネジメント資料、日出町生活交通ネットワーク計画（案）、補正予算（案）、今後のスケジュール（案）、運行ルートに記載した地図、日出町コミュニティバス運行計画（案）の資料を配布している旨を告げ、確認をお願いする。前回の協議会で指摘のあった協議会の会議録について、第1回から第6回まで印刷して配布しているので確認するよう告げた後、協議会規約第10条により、進行を会長（議長）をお願いする。</p>
堀田会長	<p>協議会規約第11条第2項により、議長が会議において会議録署名委員を指名する旨を説明し、大分県東部振興局地域振興部長の横松芳治氏と日出町役場健康増進課長の河野王見氏に第7回協議会の署名委員をお願いする。また、説明員として地域科学研究所のスタッフもこの協議会に出席し、議事等の説明をしてもらうことについて触れる。</p>
<p>3. 議事 （1）経過報告について</p>	
堀田会長	<p>議事（1）の経過報告について、事務局に説明を求める。</p>
井川事務局員	<p>前回第6回の協議会を1月25日に開催し、日出町モビリティ・マネジメント実施業務を行いたいと説明した。期間があまりないため、申請等については事務局に一任願いたい旨を告げ、承認をもらったと思っている。詳細については後で説明するが、この関係で2月7日に補助金の変更申請書を国土交通省に提出した。内容については、当初6,200,000円の補助事業ということで申請をしていたが、調査業務とモビリティ・マネジメントの事業で最終的に5,668,700円になったため、それに変更申請を行っている。本日の資料には間に合わなかったが、大分運輸支局より2月14日付で変更申請に係る変更決定が出た旨の電話連絡をもらっている、と説明する。</p>
堀田会長	<p>経過報告については、報告事項のため了承していただきたいと告げ、次の議事に移る。</p>
<p>3. 議事 （2）日出町モビリティ・マネジメント実施業務について</p>	
堀田会長	<p>議事（2）の日出町モビリティ・マネジメント実施業務について事務局に説明を求める。</p>
西原事務局員	<p>前回の協議会でモビリティ・マネジメントという公共交通利用促進施策の取組を行いたいという説明を行った。口頭での提案ではあったが、3月末までに事業を完了させるために早急に行う必要があることから、事業実施については事務局に一任してもらうよう提案して了承をもらっている。内容については、日出町におけるバスや鉄道の路線</p>

やバス停、駅などを網羅した地図とそれぞれのダイヤを記載したものを作成するような形で実施したいと説明を行った。前回の協議会以降に情報収集を行っている段階で、バスダイヤの改正が4月以降にずれ込む可能性が出てきたという情報を入手した。当初は、バスのダイヤも含めた冊子という形で作りたいと考えていたが、バスダイヤの改正が間に合わないということになると、それを載せることはできない。とはいえ、このモビリティ・マネジメント自体は行うべき業務と考えているので、若干方向修正を行い、公共交通マップとJRの時刻表などを掲載したものを作成してはどうかと考え、運輸支局に相談した。その後、どういった内容で業務を実施するかを検討し、手元資料にある日出町モビリティ・マネジメント実施業務委託仕様書を作成した。業務の内容について、作成するものは公共交通マップでA2サイズの両面印刷、部数を13,000部としている。この部数については、町内の世帯数が約10,000世帯あり、転出入や公共施設への設置などを勘案して13,000部としている。業務に要する費用について、税込で1,429,050円を上限ということにしているが、この金額は当初決定額の6,200,000円から地域科学との契約額4,765,950円と事務経費の5,000円を差し引いた残りの金額を上限に設定している。公共交通マップの概要について、バスの停留所を線でつないだだけの系統図ではなく、現状の地図に路線を引いていくような形の地図を考えている。掲載する情報については、町内を運行している九州旅客鉄道（JR）、大分交通、国東観光、大交北部と町コミュニティバスの各路線、各駅、各停留所を考えている。JR九州の時刻表に関して、マップの裏面になると思うが掲載するよう考えている。これら以外のモビリティ・マネジメントにつながる内容について、各種問い合わせ先としてタクシー事業者や切符の販売先といった情報を掲載するよう考えている。こういった形で仕様書を作成し、この業務についての費用がいくらかという参考見積書を徴取したところ、その金額が897,750円だったので、その金額をもとに補助金の変更申請を行い、交付決定の連絡をもらったので大分交通と随意契約を交わした。大分交通と随意契約を行った理由について、JR九州、大分交通、国東観光、大交北部、町コミュニティバスの情報がメインになるが、国東観光と大交北部が大分交通の子会社であることからその2社の情報をすでに保有しているということ、バスダイヤの改正に絡んでJR九州の改正後のダイヤをすでに保有しているということから、その分の情報を整理する時間と費用が削減できるため大分交通と随意契約を行

	った。別府営業所と契約を行っているという点については、日出を管轄している事業所が別府営業所ということもあり、大分交通の別府営業所と契約を結んでいると告げ、日出町モビリティ・マネジメント実施業務の説明を終える。
堀田会長	事務局より口頭での説明があったが、イメージ的にはっきりしない。どういうものを作成するのか分からないので、何かサンプルはないか、と発言。
井川事務局員	(バス路線図を見せながら説明) これがバスの路線図になるが、このサイズがA3になっている。この倍の大きさがA2になるので、それに路線図を載せる形になる、と回答。
西原事務局員	(グーグルマップを見せながら説明) 実際にこの図面になるというわけではないが、図面上の道路に路線ごとに線を引くような形で考えている。この中にバス停やJRの駅、町の主要施設などを掲載するよう考えている、と回答。
井川事務局員	配布資料の図面がA1サイズになるので、この半分の大きさになる、と補足。
堀田会長	今年度については今日の協議会で終わりとなり、平成24年度に入ってから協議会を開催することになるが、そのときには完成したものができているということになる。イメージが難しいかもしれないが、刷り上がった後では遅いので何かあれば、と質問、意見を募る。
江藤委員	主要施設について、町民がよく使う施設は事務局も把握していると思う。役場などは掲載しやすいと思うが、スーパーや個人の病院などはどういった記載にする予定か、と質問。
堀田会長	今の質問について、事務局に回答を求める。
西原事務局員	特定の店舗名のみ記載することは問題があると思うので、例えば『スーパー』という表示や『医療機関』という表示での対応を現時点では考えている、と回答。
堀田会長	他に質問、意見を募る。
横松委員	バスのダイヤの改正は4月以降にずれ込むということなので、改正前のダイヤを掲載するという事か、と質問。
西原事務局員	JRのダイヤについては、3月17日改正のダイヤを掲載する。バスについては、4月以降にダイヤ改正がずれ込むという話を聞いたため、今回のモビリティ・マネジメントの事業としては行わず、今後別の形で手当てしていきたいと考えている、と回答。
横松委員	JRとバスは連動していないのか、と質問。

西原事務局員	通常は連動している、と回答。
堀田会長	他に質問、意見を募る。
宇都宮委員	掲載する情報について、町内の主要施設を掲載するという話だったが、独居の高齢者も多いので、ある施設を使うためにはどのバスに乗ってどの停留所で降りたらよい、といった情報掲載も加味すると使いやすいのではないかと思う、と発言。
西原事務局員	紙面に掲載する情報量が限られているが、そういった情報を掲載した方が良いと思うので、掲載するスペースがあるか紙面を確認しながら検討させてほしい、と回答。
堀田会長	意見がなければ、次に進む旨を告げる。
意見なし 「はい」という多数の声をもって承認	
3. 議事 (3) 日出町生活交通ネットワーク計画 (案) について	
堀田会長	議事 (3) の日出町生活交通ネットワーク計画 (案) について、事務局に説明を求める。
井川事務局員	第6回の協議会で、計画案の方向性について提案をした。それをもとに、計画案として運行計画などの説明をしたい。詳細な内容については、地域科学研究所が行う、と告げる。
地域科学研究所 (鎌田)	日出町コミュニティバス運行計画案と図面、前のスクリーンを使って説明すると告げる。路線の概要について、前回の協議会で方向性の説明をしたが、各路線1から5で掲載している。1番の始発点豊岡は、図面だとオレンジになっている。図面と資料を見ながら説明を聞いてほしいと思う。全部の路線について、交通不便地域から日出町の中心部に向けて、保健福祉センター、中央公民館、JR暁谷駅、日出町役場の4つを必ず通るということを前提にしている。それぞれの路線の詳細について、1番の豊岡と書いているオレンジのコースは、豊岡小学校の上にある羯諦寺の前をスタートし、豊岡の坂道を登ったり下ったり迂回するようになっている。豊岡小学校まで降りて上に行き、広域農道から上仁王に出て、仁王から中心部へ行く前に福祉センターに寄る路線になっている。路線延長が11.6キロメートル程度、バス停の案として22ヶ所の設置を予定している。バス停に関して、地図上に落としているバス停を中心とした円の半径を200メートルにしている。円の中に住んでいる人は、ある程度バスを使いやすいだろうと考えている。バス停の設置に関しては、ある程度幅員のある道路で近くに家があり、70歳以上の独居か高齢者の2人暮らしの人がいる場所をカバーできるような場所で考えている。豊岡は坂がきついこともあり、人口も密集している。バス停の円がかぶる形には

なっているが、細やかに設置ができれば良いのではないかと考えている。実際に現地を確認し、ある程度道路幅員のある場所や安全性の高い場所を選んではあるが、実際に設置する前に、警察と協議する必要があると考えている。この豊岡線については、実際に運行した場合、約35分程度の時間が必要だろうと考えている。2番の紫色のコースについて、赤松が始発点になっている。この路線については、前回の方向性の説明の際に、井の辻地区に関してはデマンドで運行するという話をしたが、もう一か所、スタート地点近くの楠地区も交通空白地域になっているので、デマンド運行ができるような形にしたいと考えている。井の辻地区と楠地区に関しては、予約があった場合のみ迎えに行くという形になり、実際にいつも走る路線については紫色の線になっており、称名寺前をスタートし、清水の集落を通過して自然郷を通り、藤原西部を通過して福祉センターに行き、その後は豊岡のコースと同様という形になっている。この路線延長は13.0キロメートルで、かなり長い距離になっているが、途中で信号がないということもあるため、豊岡のコースとほぼ同じ35分程度の所要時間で運行できると考えている。次に3番目の始発点が藤原の線について、黄緑のコースになっている。これに関しても、中山地区は路線以外の地区になるので、要望があれば運行するデマンド運行を考えており、実際の路線の始発点としては、陣の辻公民館前ということになっている。空港道路の上下を行ったり来たりし、その後南下して成田尾住宅を通るようなルートになっている。この路線延長は9.4キロメートルで、前の2つに比べると少し短めになっており、運行時間は約25分で考えている。次に、4番目の始発点が辻の尾と書いてあるピンク色の路線について、金井田橋からスタートし、成行地区を通るルートになっている。前回の方向性の際にも説明したが、ルートとしてはかなり狭くなっており、バス停を置くことも困難ということもあったので、榎住宅の中を一周して、ここにバス停を設置してはどうかと考えている。また、向陽台の中にも入って一周するようにも考えている。この路線延長は約7.8キロメートルと短くなっているが、細かい運行するようになっているので、運行時間としては約25分程度を予定している。最後の5番目については、黒の路線になっている。照川の龍南運送付近をスタートし、原山地区を走るルートになっている。大神中学校辺りで民間バス路線とかぶる部分はあるが、別のルートを運行した場合に道が狭すぎて危険な箇所があるため、ここでは乗降をしないという形にして運行するよう考えている。そこから中村を通り、北大神を抜けて

福祉センターへ行くルートになっている。手元の図面で一つずつの路線を説明したが、すでに走っている南端地区のスクールバスの折り返しで運行しているコミュニティバスがある。この路線について、現在は今畑地区で折り返し運行をしていたが、図面上のバス停の場所付近に住んでいる方がいるため、折り返しではなく三角を描く形で運行するよう変更を行いたいと考えている。この路線はスクールバスの関係で毎日運行があるので、そのうち週2回ほど広域農道を通して運行するよう考えている。それにより、豊岡のコースでまかないきれなかった法花寺や長野に住んでいる方も利用ができるようなコースに変更したいと考えている。いずれの路線についても、基本の料金は一乗車200円で考えている。この他、前回の協議会でも説明したが、大神地区の路線については道路の幅員も広いため、国東観光バスの路線バスで、新しいルートの運行を週に何日か対応してもらいたいと考えており、そのように計画している。それぞれの路線の運行曜日と時刻について、前回の協議会で週1回の運行ということ、午前1往復・午後1往復ということの説明をした。実際の調査で、運行の曜日に対して何曜日が良いという要望がどこの地区からも出なかったため、週1回運行ということで、各路線月曜から金曜まで1日ずつ割り振るという形で曜日を設定している。午前の時刻について、それぞれの運行所要時間から、町の中心駅である暘谷駅の運行ダイヤに合わせた形で運行時刻の設定を考えている。1番の豊岡のコースを例にとり説明すると、まず羯諦寺を朝8時30分に出発し、暘谷駅へ到着する時刻が9時5分くらい。JR大分方面行の電車が、暘谷駅を9時26分に出発するようになっており、杵築方面が9時12分に出るようになっているので、この2つの電車にコミュニティバスから乗り換えて、町外へ出かけることができるような設定にしている。午前の復路について、日出町役場を12時20分に出発すると、暘谷駅に大分方面から来る電車が12時10分に到着し、杵築方面から来る電車が12時15分に到着するので、町外に出た方が戻ってきたら、自分が住んでいる地区に戻っていけるように設定している。電車から降りた人たちを乗せて暘谷駅を発車する時間が12時22分で、最終的に終点に着く時間が12時55分という形で考えている。それぞれの路線について、JRの各便と接続ができる形で設定している。ただ、JRの時刻表について、3月にJRがダイヤ改正を行うよう予定しており、この公表が2月末のため、今回その情報を教えてもらうことができなかったため、現在のダイヤでこの時刻表を作成している。もし、接続を予定してい

る便の時刻がダイヤ改正で変更になった場合は、コミュニティバスの運行時刻もそれに合わせて変更し、利用者がスムーズに乗り換えて出かけられるよう対応したいと考えている。運行曜日について、週に1回ということになっているので、5本の路線については祝日に関しても運行したいと考えている。ただし、年末年始の12月29日から31日までと、1月1日から3日までは、運休にするよう考えている。また、先ほど説明した現在走っている南端のコミュニティバスについては、スクールバスの折り返し運行という形になっているので、平日毎日走っている。そのため、この路線に関しては、役場の閉庁日には運行しないという形を取りたいと考えている。利用見込みについて、バス停の200メートルの円の圏内に住んでいる人数を年齢別に算出したものが(1)の沿線人口ということで掲載している。この沿線人口に対する実際の利用の見込みについて、コミュニティバスの主な利用者を『自分で自家用車を運転して外出できず、送迎してくれる若い世代と同居していない高齢者』とすると、図面の赤い丸で示している70歳以上の単身または高齢者二人暮らしとなるので、町民アンケートによるバスの利用割合を用いて利用見込みの算定を行っている。すぐ下の表について、右側の2番目の列、町民アンケートによる70歳台のバス利用割合が、週1から2回とその隣も週1から2回となっているが、月1から2回の間違いなので、訂正をお願いする。こちらの割合は、今回実施した町民アンケートで70歳台の方が民間路線バスにどれくらい乗っているか、という設問に対して回答した割合となっている。この割合を使用して、週に1回から2回乗る人が大体何人くらい、月に1,2回乗る人が何人くらいで、1コース当たりひと月に16回運行することになるので、1便当たり大体これくらい乗る素地のようなものがあるといえる。ただ、今まで路線バスが走っていたわけでもなく、どうにか外出している人にこれから利用してもらう形になるので、豊岡だと7.2、赤松だと2.2という数字に関しては、これくらい乗ってもらえれば良いのではないかと考えている。これはだんだん慣れてきて、初めてこのくらいの数字になるのではないかと考えてもらえれば良いと思う。それに対して、目標値と下限設定について、主な利用対象者に対して運行の説明や利用案内を十分に行ったうえで、利用の見込みを半分以上下回る状態が半年または一年程度続いた場合には、減便や廃止の検討を実施するという形で考えている。町民アンケートによる70歳以上のバスの利用割合を半分にした豊岡3.6人、赤松1.1人となっている数字があるが、これを割り込む

	<p>ような利用の状況が半年から一年程度続いた場合には、減便なり廃止なりの何らかの検討を始める設定しておいた方が良いのではないかと考えている。ただし、1番の豊岡のコースと4番の成行のコースについては、路線バスとかなり近いところを運行しており、路線バスは毎日運行しているため、それを利用して外出する人も多いと考えられる。どの地区も人口に対して平等に見た場合にはこの数字で見直しを行った方が良くもしいないが、実際にそういった事情を考えた場合に、この数字が大きいかもしいないとも感じているので、これについては、そのあたりを差し引いた数字を設定する必要があるのではないかと考えている。実験の開始については、平成24年10月の開始を予定していると告げ、説明を終える。</p>
堀田会長	この議事に関し、事務局から補足はあるか、と発言。
井川事務局員	南端を通っている現行のコミュニティバスについて、現在は無料で運行している。この路線についても、10月1日より同じ料金設定を行いたいと考えている、と説明。
堀田会長	200円か、と質問。
井川事務局員	はい、と回答して説明を続ける。 この路線については、スクールバスを使っているという関係で、利用目標の下限設定は行わないよう考えている、と説明。
堀田会長	今の説明について、質問、意見を募る。
財前委員	南端地区の左上の三角の形をした部分（今畑部分）について、今度はそこをデマンド運行にすることか、と質問。
井川事務局員	現在、南端のコミュニティバスについては、左上のところ（今畑）でUターンをしているのだが、それを広域農道方面に運行させて、南端の方へ戻るようにしている。現行コミュニティバスのルートを若干変更するような形で考えている、と回答。
財前委員	さっき、学休日に運休ということをやっていたと思うが、それについてはどうか、と質問。
地域科学研究所（鎌田）	学休日ではなく閉庁日、役場が休みの日に運休するよう考えている、と回答。
井川事務局員	現行のコミュニティバスはスクールバスが基準となっているため、学校が休みのときは運行がないという形になっている、と回答。
財前委員	ということは、夏休みは運行しないということか、と質問。
井川事務局員	夏休みは運行している、と回答。
堀田会長	他に質問、意見を募る。 日出町生活交通ネットワーク計画（案）について、今年10月から試

	行運転を開始し、必要に応じて見直しを行うということだが、この案で承認して構わないか、と発言。
「はい」という多数の声をもって承認	
堀田会長	10月の運行開始に向け準備を行うことになるが、もし運行開始時期が早まったとすれば、町民にとってもありがたいことであるので、そのように理解してほしい、と発言。
3. 議事 (4) 平成23年度日出町生活交通確保維持協議会補正予算(案)について	
堀田会長	議事(4)の平成23年度日出町生活交通確保維持協議会補正予算(案)について、事務局に説明を求める。
西原事務局員	平成23年度日出町生活交通確保維持協議会歳入歳出補正予算(案)について、さっき国庫補助金の変更交付申請をしたという説明を行ったが、それに伴って補正をしている。歳入について、負担金は補正を行っていない。補助金について、さっきの変更申請と同様に補正している。当初の予算額は交付決定を受けた6,200,000円で計上していたが、それから531,300円を減額し、補正後の予算額は5,668,700円となっている。諸収入についても補正がないので、歳入の合計として、当初の6,221,000円から531,300円を減額し、5,689,700円が補正後の歳入予算額となる。歳出について、運営費は補正を行っていない。事業費について、地域科学研究所と契約しているネットワーク計画案の検討業務とモビリティ・マネジメントの業務の額が確定しているので、当初の予算額の6,195,000円から531,300円を減額し、補正後の予算額として5,663,700円となっている。予備費についても補正を行っていないので、歳出の合計として、当初の予算額6,221,000円から531,300円の減額を行い、補正後の歳出予算額としては5,689,700円となり、歳入と歳出の予算が一致するようになっている、と説明する。
堀田会長	補正予算案について、事務局より説明があった。委託料等について、当初予算よりも減額が生じたための補正ということだが、何か質問、意見はないか。特にないようであれば、これで承認して構わないか、と発言。
意見なし 「はい」という多数の声をもって承認	
3. 議事 (5) 今後のスケジュール(案)について	
堀田会長	議事(5)の今後のスケジュール(案)について、事務局に説明を求める。
井川事務局員	今後のスケジュール(案)の資料に沿って説明。 さっき承認された計画案を議会に報告したいと考えている。3月議会

	<p>が3月5日から開会するので、5日以降で議員全員が集まったときに説明したいと思っている。ネットワーク計画の作成の委託とモビリティ・マネジメントの委託について、3月30日までが委託契約期間になっているので、それまでに計画書とマップを完成させて納品してもらおうようになっている。マップについては、3月末に完成した後、日出町の各世帯に配布するよう、日出町に対して配布依頼をする形で考えている。配布形式は、区長配布を予定している。これで平成23年度の事業が終了し、事業の完了報告と補助金の請求をすることになる。それから平成24年度になり、第1回の協議会を人事異動後に開催したいと考えている。補助金の受け入れや委託料の支払についても4月に行いたいと考えている。6月に第2回の協議会を開催し、6月末が締め切りになっている計画の認定申請書について、審議してもらおう予定にしている。実証運行を10月開始で考えていると告げ、説明を終える。</p>
堀田会長	<p>今後のスケジュールについて、事務局より説明があった。モビリティ・マネジメントの関係の交通マップについて、平成24年度第1回の協議会の開催前に、町内各世帯に配布するという計画だと受け取った。マップについての説明はあったものの、イメージは難しいと思うのだが、委員の皆さんにマップをお示しするのが町内に配布後ということになるので、マップの内容は事務局に任せて構わないか、と発言。</p>
<p>「はい」という多数の声をもって承認</p>	
堀田会長	<p>今年度の協議会は本日が最後となる。来年度以降は、人事異動などで代わる方もいるかもしれないが、4月に平成24年度第1回の協議会を開催という説明があった。そういうスケジュールになっているので、皆さんの協力をお願いしたい。それ以外にその他で何かあるか、と発言。</p>
財前委員	<p>前回の協議会の際に、車を日出町で購入する予定だと聞いていたが、その後どうなったのか、と質問。マイクロバスを購入するのか、タクシー会社に委託するのか、そういったところはどうなったのか教えてほしい、と補足。</p>
越智事務局長	<p>車の購入を行うよう考えているが、予算の関係もあるので、内部で協議しながら決めたいと思っている。現時点では購入予定であるが、どういう形が一番良いのか、そういったものを見極めながら決定したいと思うので了承願いたい、と回答。</p>
<p>3. 議事 (5) その他について</p>	
堀田会長	<p>議事(5)のその他について、何かあるか事務局に確認。</p>

井川事務局員	ありません、と発言。
堀田会長	議事はこれで終わりだが、何か言っておきたいことがあれば、と意見等を募る。
合田委員	南端地区のコミュニティバスは、現在は無料で10月から200円ということだったが、通学生に対する補助はあるのか、と質問。
井川事務局員	コミュニティバスを有料にするが、スクールバスは無料のままだ、と回答。
合田委員	スクールバスはコミュニティバスではないのか、と質問。
井川事務局員	スクールバスの折り返し便をコミュニティバスとして使用している、と回答。
合田委員	行きがスクールバスで、帰りがコミュニティバスということか、と質問。
井川事務局員	はい、と回答。
堀田会長	他に質問、意見を募る。
江藤委員	10月からの運行開始について、現行で走っていない路線を運行することになるので、広報をしっかりと利用者が少ない状態が続くのではないかと考えている。その辺についての考えを聞きたいのだが、と質問。
越智事務局長	モビリティ・マネジメントの事業と同じように、町民に対してコース等を広報でお知らせして周知徹底を図りたい。モビリティ・マネジメントの事業で民間バスの行先、コース等をお知らせするとともに、ひじ町報という広報紙を利用して周知を図りたいと思っている、と回答。
堀田会長	他に意見がなければ、これで議事を終わる旨を告げる。
意見なし 「はい」という多数の声をもって承認	
堀田会長	議事について終わることを告げ、委員にお礼を述べる。
井川事務局員	議長にお礼を述べ、日程を進める。
4. 閉会あいさつ	
越智事務局長	委員に一年間の出席に対するお礼を述べた後、委員の皆さんの協力で日出町生活交通のネットワーク計画ができたことに触れ、平成23年度第7回日出町生活交通確保維持協議会の閉会あいさつをする。
平成23年度第7回日出町生活交通確保維持協議会終了（15：00）	

平成23年度第7回日出町生活交通確保維持協議会の概要を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名、捺印する。

平成24年 3月28日

平成23年度第7回日出町生活交通確保維持協議会

会議録署名委員 横 松 芳 治 ⑩

会議録署名委員 河 野 王 見 ⑩